

令和3年度 新たな地域コミュニティ支援事業における評価結果について

評価基準

- S：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
 A：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
 B：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
 C：区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。

【評価項目1】 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

| 評価 | 左記の理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインのスキルアップや新しいツールを使った広報、次世代との連携などの提案やサポートを積極的に行い、コロナ禍でも事業実施できる手法についての支援を行った。 ・地域と企業・団体・学校の交流の場の事業である「あべのほっとカフェ」や「地域活動フォーラム」をオンラインで開催し、コロナ禍で制約の多い中、情報共有、意見交換の場の提供を行った。 ・新たな担い手の育成及び参画に向けて「次世代と考える防災」の現地開催や、学生・学生団体との地域連携事業を実施した。 ・楽しみながら地域のイベントなどを知っていただけるよう、地活協リーフレット「地活協すごろく」を作成し、阿倍野区への転入者などへ配布した。 ・各地域活動協議会の運営委員会や部会に出席し、会計支援や会議運営の支援として、書面採決等の提案を行った。 |

【評価項目2】 事業の実施体制等

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフを地域担当制とし、地域のこれまでの状況を把握したうえで、地域に合った提案を行うことができる体制が整っていた。 ・毎月1回、9区の担当者によるアドバイザー会議を開催し、他区で受注している「まちづくりセンター」と情報共有を行い、効果的な支援を行った。 |

【評価項目3】 アンケート調査

| 評価 | 左記の理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合が伸びている。 ・まちづくりセンターの支援の満足度及び、新たな担い手が増えてきたと感じる割合について向上している。 |

【総合評価】

| 評価 | 左記の理由 |
|----|---|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会への組織運営や適切な会計処理について、地域課題の解決に向けて的確な支援を行った。 ・コロナ禍における地域支援として、オンライン会議を積極的に進め、各地域の事業運営の支援をきめ細かく行った。 |